

暗い天井内を簡単に明るく全天球撮影、改修工事に最適！！ —小型で照明装置を備えた「隠蔽部撮影カメラ」『PanoShot R』—

1. はじめに

天井内や床下、ピット等の暗い隠蔽部を明るく簡単に撮影できる装置として、照明と（株）リコーの全天球カメラ「RICOH THETA」を組み合わせた「隠蔽部撮影カメラ」『PanoShot R』（パノショット アール）を開発しました。
ホームインスペクション、改修工事の現状調査等の写真撮影の手間を大幅に軽減することが出来ます。



2. 従来の隠蔽部の撮影

暗い隠蔽部の調査においても、一般的なデジタルカメラで撮影をしていました。そのため点検口にカメラを手で挿入してシャッターを押すため、対象がファインダーに入っているか否かの確認が出来ないまま、勘で撮影をしなければならなかったため、必要な写真を撮影するのに手間取ることがありました。

また、ストロボを使用するため、手前のものは極端に明るく写るなど写真の品質に難点がありました。しかもカメラの周囲全体を撮影するには、かなりの手間が必要で、角度を変えて撮影した複数の写真を用いて、専用のアプリケーションソフトを使用しなければならず、技術と時間が必要でした。



3. 本機の隠蔽部の撮影

（株）リコーが開発した全天球カメラ「RICOH THETA」を採用することで、1回のシャッター操作で簡単に全天球のパノラマ写真を撮影することが出来ます。全天球なので全周、天地のすべてが1枚の写真になりますので、撮り忘れる部位がなくなります。

照明装置を開発したことで暗い隠蔽部を明るく照らし、一般的なデジタルカメラでは容易に撮影できない鮮明な写真を得ることが出来ます。

手元のスマートフォンでシャッターなどのリモート操作が可能なので、瞬時に写真の写り具合を確認することが出来ます。カメラにポールを取り付けることで、脚立などの足場が不要となり、調査時間の短縮と作業範囲の限定ができ、建物使用者が居ながらも調査をすることが出来ます。また、装置を小型化したことで、点検口だけでなく小さな照明器具等の開口部にも挿入できるので、調査箇所を増やすことが出来ます。自立する三脚で安定した撮影もできます。



ホームインスペクションの報告書用写真として使用することが出来ます。

改修工事においては、全天球写真を利用することにより、工事関係の意思疎通が容易に図られ、打ち合わせを効率よく進めることが出来ます。



Wako 株式会社 和興計測
〒213-0032
神奈川県川崎市高津区久地864-1
TEL (044) 833-7181
FAX (044) 850-8586
<http://www.wako-keisoku.co.jp/>

隠蔽部撮影カメラ 【PanoShot R】



仕 様

本体最大寸法：φ95×77mm

重 量：184g

電 源：単4乾電池 4本

連続点灯時間：60分

到達距離：4m四方

特 徴

- ・ 自撮棒に取付可能
- ・ 自撮棒を使って使用する為に、軽量化。
- ・ 多数のLEDを使用する事で360°明るくむら無く照らす。
(砲弾型のLEDを30ヶ使用)
- ・ 充電式では無く、あえて電池式に
現場で使用する事を考え、単四電池4本で動作可能
- ・ 裏面が10角形になっている為、自撮棒を取り付けたまま机などに置いても転がらない。
- ・ 最大径φ95mmなので、狭い穴からも撮影可能。
- ・ 足の長さは現場状況によって変更可能
- ・ 全てのTEHTAIに取付可能

その他

開発→設計→ケース成形→加工→組立→検査→出荷まですべて川崎企業で行っています。
この製品はまさに、Made In Kawasaki です。